



## 多古の暮らしぶりに憧れて移り住む人を惹き込むことを目指す観光 ～志民協働の先にある選択的新住民の獲得戦略

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

千葉県多古町って、知っていますか？ 日本の空の玄関口・成田空港の隣に位置しています。多古町の知名度の低さを逆手にとった「たこ？どこ？ここ」の自虐的キャッチで現在売り出し中。多古町のマスコットキャラクター「ふっくらたまこ」も人気急上昇中です。

### ■コロナ禍の働き方でにわかにクローズアップ

新型コロナウイルスの感染拡大で、大学の講義も対面授業とオンラインを併用したハイブリッドの時代に、リモートワークにより働き方も大きく変わってきています。その影響で移住・定住先としても多古町は注目されています。

宝島社の「田舎暮らしの本」2021年版での「住みたい田舎」ベストランキングの「子育て世代が住みたい田舎部門」で町ランキング全国8位(千葉県第1位)に多古町がランクインしました。以前より、地方創生の一環として、待機児童・給食費・高校までの医療費がすべて0(ゼロ)の子育てにやさしい3つの「0(ゼロ)」を掲げ、子育て世代を中心に隠れた人気スポットとなっていました。ターゲットを特定した戦略が見事に効果を発揮しています。



人気急上昇の多古町のイメージキャラクター「ふっくらたまこ」さんです。

### ■豪農家屋をリノベーションした新しい宿泊体験を開業

多古町は「多古米」と「やまと芋」がブランドとなっている農村環境が展開されている地域です。良好な環境と地域住民のもてなしの気持ちがいっぱいの地域です。しかし、空き家も少なくないため、多くの地域と同様に空き家対策が急務となっていました。

江戸時代から150年以上の歴史をもつ地域の豪農の大三川(おおみかわ)邸では、地方創生の予算によりリノベーションされ、「田園風景をながむ、集落の中の一軒宿」として生まれ変わりました。1泊2日で12万1000円(税込)ですが、2～8名まで宿泊可。連泊すれば15万4000円であり、9名以上も要相談とのこと、学生のゼミ合宿等にも使える瀟洒な空間となっています。コロナを克服し、満点の星空を眺めての露天風呂で仲間たちと語り合いたいものです。それが成田空港から20分の好立地のところにあるのです。



大三川邸の外観。内部は、現代的にリノベーションされています。是非ともHPの訪問を!!

### ■志民協働の取組みをベースにした観光まちづくりの展開が注目

「これからの観光まちづくりは“多様な主体”がキーワードとなる」……これは、大下先生の授業の持ちネタ(持論)です。多古町では10年近く前より「志民協働」という言葉でまちづくりが展開されてきました。市民協働という言葉は、最近是一般化してきましたが「志民協働」は新鮮なワードでした。

志のある町民の方々が身近な観光まちづくりに取組んで10年。「これっ」といった集客施設を道の駅以外に有していない多古町の最大の魅力は、農村環境と人柄・暮らしぶりにあります。モニターツアーに参加した先輩から聞いた興味ある話では「トマト農家の端境期に海外旅行、外車も保有のライフスタイル」。子育て世代だけでなく、こんな暮らしならば魅力的で、若者・学生の心も惹かれます。

そんな魅力を戦略的に展開する取組みが「多古町観光・交流アクションプラン」に体系的に示されています。プランでは単に物見遊山の観光客を呼び込むだけでなく、多古町のライフスタイルに惹かれて選択的に移住・定住する多古町の新住民の獲得のための様々な仕掛けが満載です。これまでにない新しいタイプの観光戦略でもあるのです。これは、アフターコロナの時代の新しい観光まちづくりの幕開けかもしれません。

(飯村将大&amp;まっちい。近藤)

大三川邸ホームページ <https://oomikawa.jp/>

多古町観光・交流アクションプラン

[https://www.town.tako.chiba.jp/docs/2021040100015/file\\_contents/purangaiyou.pdf](https://www.town.tako.chiba.jp/docs/2021040100015/file_contents/purangaiyou.pdf)

ちょうどいい加減、**多古町。**

- ・(待機児童0)
- ・(給食費0)
- ・(高校まで医療費0)
- ・(通勤バスで移動費0)
- ・3000円から始めやすい子育て環境

豊かな自然と多古米などの美味しい農産物の宝庫。暮らしやすい、ほど良い田舎が魅力です。

成田空港にも隣接し交通アクセスも良好。遊まれた子育て環境の中でゆったりと暮らし、通勤・通学は都心へ。そんな生活がここでも可能です。

東京と多古ってちょうど良い距離感なんです!

多古町 バスターミナル

千葉県 多古町

移住・定住のポスター。「たこ？どこ？ここ」のキャッチが、記憶に残ります!!



モニターツアーでフルーツトマトの佐藤農園を訪問。「最も赤いトマトを探せ!!」のゲームをしたそうです。